

## 平成30年度「大分を創る人材を育成する科目」各大学等が提供する単位互換科目一覧

### 【前期】

(企業力科目)

県立芸術文化短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
産業・組織心理学	前期 金3	吉山	2	5	2	講義(週1×15コマ)	県立芸術文化短期大学で開講	
①職場集団や組織の心理学的特質を説明できる。 ②職場で起きやすい問題や困難を指摘できる。 ③リーダーシップを発揮するポイントを説明できる。								

(地域力科目)

県立芸術文化短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
観光地域づくり論	前期 月3	宮野	2	5	2	講義(週1×15コマ)	県立芸術文化短期大学で開講	
①観光地域を取り巻く社会環境について理解している。 ②観光地域づくりにおけるマーケティングの必要性について理解している。 ③観光地域マーケティングの基礎的知識を持っている。								
大分の観光と文化	前期 火2	国際総合学科 教員	2	10	1・2	講義(週1×15コマ)	県立芸術文化短期大学で開講	オムニバス形式 開講内容の一部はシラバスから 変更される場合がある。
①大分の観光や文化についての基礎的な知識を身につける。 ②地元出身者にも意外に知られていない観光資源としての大分の魅力を再認識する。 ③観光振興の戦略や問題点について認識する。 ④大分の観光振興について主体的に考える態度を養う。								

大分工業高等専門学校

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
環境化学	前期 水1	帆秋	2	4	3.4	講義(週1×15コマ)	大分工業高等専門学校で開講	
(1) 化学の基礎力をベースに環境問題の現状を把握し、環境保全への関心を抱くことができる。(定期試験) (2) 化学的な視点から大気・水・土壌の汚染問題を議論できる。(定期試験) (3) 化学物質の循環、越境および管理について理解することができる。(定期試験) (4) 化学を英語で理解することができる。(定期試験)								

別府溝部学園短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
まちづくりと景観	前期 集中	姫野	2	10名程度	1・2・3・4	講義4日間(15コマ)	別府溝部学園短期大学で受講	フィールドワーク有り
① コンシェルジュとして紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。 ② 紹介しようとする地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。 ③ 顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。 ④ 別府の街づくりや特色ある産業について他の地域と比較するなどして、特色を説明できる。								
温泉学	前期 集中	宮崎	2	10名程度	1・2・3・4	講義4日間(15コマ)	別府溝部学園短期大学で受講	フィールドワーク有り
①温泉について多分野にわたる実践的な基礎知識を身につける。 ②別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。 ③温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざす。								

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
大分の地域資源	前期 水3	鈴木	2	10名程度	1・2・3・4	オリエンテーション(1コマ), Moodle と動画配信による遠隔授業(8コ マ), 対面授業(6コマ)	オリエンテーション(1コマ), Moodleと動画配信 による遠隔授業(8コマ), 対面授業(6コマ)	
1. 授業でピックアップする大分の地域資源について列挙し、説明できる。 2. 大分地域の課題や地域資源の活用についてのアイデアを創出できる。 3. 大分についてさらに学んだり、大分の地域資源を体験したりしようとする。								

(汎用力科目)

日本理科大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
ジェネリックスキル養成1	前期集中 9月11日、12日	吉村 市田	1	20名程度	1	演習・実習2日間(8コマ)	住吉浜リゾートパーク(杵築市)で 1泊2日の合宿	夏期休業中 (9月11日、12日)に実施
【関心・意欲・態度】①各自が「他のメンバーに配慮しながら、オープンな気持ち・態度になり、課題に向き合う際に、チームに積極的に関わり、チームに貢献することが自分を成長させ、今後の様々な場面でもそれが役に立つ」と意識できる。 【技能・表現・コミュニケーション】②フルバリュー・コントラクト(人と良い関係を作る力、対人基礎力)、チャレンジ・バイ・チョイス(自分自身で積極的に動く力、対自己基礎力)という観点から、活動を各自がふりかえることができる。 【思考・判断・創造】③体験学習サイクル(考える力、対課題基礎力)という観点から、活動を各自がふりかえることができる。								

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
子どものこころの育ち	前期 月2	田中	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 子どもの発達に関する基本的な知識と考え方を理解する。 2. 主に乳幼児期から学童期における子どもの自我・自己意識、対人関係、社会性の発達について理解する。 3. 新聞、雑誌等で取り上げられている現代的なトピックを通じて、「子ども問題」の本質について考え、課題解決にむけた取り組みを構想する力を養う。								
福祉テクノロジー入門	前期 水2	池内	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
・障害に対して、理解を深め、広い視野でとらえる。 ・福祉に関する支援技術、福祉機器・介護機器について理解を深め、障害や生活上の問題に対して適切な手段を選択できる。 ・福祉機器や介護機器の市場・利用法についての課題を理解し、これらの課題に興味関心を持つ。								
初年次地域キャリアデザインワーク ショップ	前期 集中	牧野	2	8大学等 合計20名	1・2	ガイダンス、授業配信、 合同学習(全15コマ)	大分大学で開講	合同学習は5月12日(土)、 13日(日)、20日(日)実施
・多様な情報から、多様な人や文化、考え方を分析することができる。 ・組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。 ・グループ討議やプレゼンにおいて、自分の考えを他者に分かりやすく説明することができる。 ・大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標や課題の分析に基づいて、大分で働くことについて自分の考えをグループ内で分かりやすく説明できる。 ・自分の考えを基にして、他者と協調・協働して相互評価しながら、地域社会や企業が抱える課題に対応できる大学等での学び方を提案することができる。 ・自分の生き方を構想し、自分自身が大学で学ぶ意義と価値を説明できる。								
国際健康コンシェルジュ養成講座	前期 集中	大下・他	1	10名程度	1・2・3・4	講義2日間もしくは3日間(8コマ)	ホルトホール大分もしくは大分大学で開講	土日で集中 社会人も受け入れ
習得する専門知識(Contents)とそれを活かした能力(Competency)は、次の点である。 1. 病気・外傷の重篤度・緊急度の判断が可能となり、また必要な応急処置できる。 2. 外国語(英語、中国語)の基本的な表現を使って、「身体症状を質問し、適切な指示を与える」ことができる。 社会人との協働講義の中で得た能力(Competency)は、次の点である。 3. 多様な年齢、性別、人生観、仕事観を持つ社会人と上記の会話訓練をすることで、自ら他人と「話す」状況をつくるきっかけを創出できる。								

【後期】

(企業力科目)

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
経済学で物事をみる	後期 水2	川崎	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
現実の経済に生じている様々な現象を、経済学の考え方をを使って説明することが出来るようになる。								
事業創成入門	後期 水2	河野	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
・事業創成の意義と取り組み方について理解し、説明できる。 ・自分が取り組む課題を適切に設定することについて理解し、実践できる。 ・学内外のコンテストに応募できるレベルのビジネスプランを策定して発表できる。								
知的財産入門	後期 集中	富畑	1	10名程度	1・2・3・4	講義2日間もしくは3日間(8コマ)	大分大学で開講	土日で集中 社会人も受け入れ
知的財産と知的財産権の概念や、知的財産関連法と経済活動の関わり、企業の業務において必要な基礎的な知的財産に関する知識について説明できるようになる。 特に、自分自身と知的財産のかかわりを十分に認識し、身近な生活において正しい判断ができるようになる。								

(地域力科目)

日本文理大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
大分の地域ブランド創造体験	後期 集中	吉村・ 鈴木(照)	2	15名程度	1・2	演習・実習2日間×2回 (15コマ)	国東市で1泊2日の合宿を2回	10～11月の土日と、2月下旬～ 3月上旬の春休み期間中で設定
【技能・表現・コミュニケーション】 ①他者と協働して活動を行い、テーマについての対応計画をまとめ、他者にわかりやすく提案することができる。 【思考・判断・創造】 ②地域での活動を体験して情報収集・分析し、テーマに関する地域社会が直面する課題を明らかにすることができる。 ③地域企業が抱える課題を知り、地域資源を活かした商品開発を提案することができる。 ④地域が抱える課題を知り、地域資源を活かした柔軟性を保った活性化策の計画立案を行い、提案することができる。								

別府大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
九州学	後期 土1	飯沼	2	30	1	講義(週1×15コマ)	別府大学で開講	一般公開
①九州という場所の魅力を再発見し、九州をすばらしさを認識する。 ②九州の魅力を再認識し、ここで得た知識を伝えることができる。								
温泉学概論	後期 土2	鈴木	2	10	1	講義(週1×15コマ)	別府大学で開講	フィールドワーク有り
①日本の温泉文化を理解し、それを見直すことができる。 ②温泉の種類、温泉の効用、温泉の地熱利用の知識を取得できる。 ③温泉観光などの知識を取得できる。 ④外国の温泉地の状況を学習できる。								

大分工業高等専門学校

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
社会技術概論	後期 未定	久保山	2	4	3.4	講義(週1×15コマ)	大分工業高等専門学校で開講	
(1) 社会技術に関し、多角的に思考することができる。(定期試験) (2) 社会技術の要諦を理解することができる。(定期試験) (3) 具体的事案にそくし、体系的に議論することができる。(定期試験) (4) 将来起こりうる事態に際し、積極的な解決施策を提案できる。(定期試験)								

別府溝部学園短期大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
温泉コンシェルジュ演習	後期 集中	安達	2	5名程度	1・2・3・4	演習約7日間(30コマ)	別府溝部学園短期大学で受講	長期休暇中の実施 週末フィールドワーク有り
①(別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 ②「おすすめの別府案内」プログラムが提案できる。 ③他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようとする心ができる。 ④顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心ができる。								
温泉コンシェルジュ応用	後期 集中	坂田	2	5名程度	1・2・3・4	講義4日間(15コマ)	別府溝部学園短期大学で受講	フィールドワーク有り
①別府の地域資源を組み合わせた滞在プログラムの提案ができる。 ②多様な情報を収集し、顧客の滞在価値を高めるツールを作成できる。 ③人的ネットワークを活用し、課題解決力を身につけることができる。 ④顧客や職場等の考えを理解し、課題解決の為に提案を行うことができる。								

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
地域の住まい論	後期 月2	川田	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 住まいと気候風土の関わり、日本の住まいの歴史の変遷について理解を深める。 2. 現代の地域が抱える諸課題に対して、住まい・まちづくりの視点からの改善手法を検討することができる。 3. 地域社会の一員として、住まい・まちづくりに主体的に取り組む姿勢を養う。								
地域と財政	後期 月2	林	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 地域が抱える課題を受講生が自らのもととしてとらえる動機付けをしたい。 2. その課題について経済学の視点から見た論理的な考え方を身につける。 3. 講義内で分析スキルを提供し、実際に活用する力を身につける。 4. 地域課題についての解決策を自ら立案できるようにする。								
地域と情報	後期 火1	藤井	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
地域の情報化の現状を知り、具体的問題点について考える。 国の進めようとしている情報化の方針と地域の情報化との関連を知り、学生それぞれが地域の情報化について考えることが出来るようになる。								
大分の人と学問	後期 集中	望月・他	2	10名程度	1・2・3・4	Moodleと動画配信による遠隔授業 (12コマ)と対面授業(3コマ)	Moodleと動画配信による遠隔授業 (12コマ)と対面授業(3コマ)	
1. 大分の特徴や課題、大分に縁のある学問分野や人物について説明できる。 2. 講義内容から派生的な課題を自ら見だし、文献等の調査に基づいたアイデアを論述することができる。								
大分の地域資源	後期 集中	鈴木	2	10名程度	1・2・3・4	Moodleと動画配信による遠隔授業 (10コマ)と対面授業(5コマ)	Moodleと動画配信による 遠隔授業(10コマ)と対面授業(5コマ)	ホルトホール大分講義室の収容 人数に合わせて受講者数を制限
1. 授業でピックアップする大分の地域資源について列挙し、説明できる。 2. 大分地域の課題や地域資源の活用についてのアイデアを創出できる。 3. 大分についてさらに学んだり、大分の地域資源を体験したりしようとする。								

(汎用力科目)

県立看護科学大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
総合人間学	前期後半 9月～11月	藤内	1	20名程度	1・2・3・4	webで視聴(10回)	大学等のPCで視聴し、毎回レポート提出	webは10月以降を予定
講師の講義を通し、自分の視方や考え方の深まり、広がり等を認識し、自己の成長を見出すことができる。								

日本文理大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
ジェネリックススキル養成2	後期 集中	鈴木(照)・ 吉村	1	30名程度	1	演習2日間(8コマ)	日本文理大学湯布院研修所(由布市)で 1泊2日の合宿	春期休業中 (2月下旬頃)に実施
【関心・意欲・態度】①チームにおける自己の役割を理解し、それに沿った行動ができる。②大分について考えることができる。 【知識・理解】対象とする地域課題について必要な知識を獲得し、問題点の分析に活用することができる。 【技能・表現・コミュニケーション】①対象とする地域課題について、自分の意見を述べることができる。 ②対象とする地域課題に関する解決策について、適切な手段を用いて表現することができる。 【思考・判断・創造】リテラシーのプロセス(情報分析→課題発見→構想→表現)を獲得し、そのスキルを活用できる。								

大分大学

科目名	開講期 曜限	担当教員名	単位数	他大学受 講者総数	対象学年	授業方法	単位互換方法	備考
市民参加と現代社会	後期 火1	豊島	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1.市民参加の社会的意義や基本理念、歴史的背景について理解を深める。 2.NPO・ボランティアに代表される社会的活動を関する日本社会の現状について、統計資料や具体的事例に基づいて的確に把握する。 3.一市民として地域や社会の課題に興味関心を持ち、その解決に向けて他者と協力しながら自発的に参加することの重要性について学ぶ。								
社会調査の基礎	後期 水2	長谷川	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 社会調査の定義や課題、基本的な考え方を理解する。 2. 社会調査の流れや、問いの立て方、調査設計について理解する。 3. 計量分析の基本的手法について理解する。								
学習意欲の心理学	後期 水2	鈴木	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1. 学習意欲に係わる心理学の理論を説明できる。 2. 学習意欲の問題に対して、解決策を示すことができる。 3. 学習者として、意欲を高めるための方策を選択し、活用できる。								
人類の知的遺産と向き合う	後期 水3	牧野	2	10名程度	1・2・3・4	講義(週1×15コマ)	大分大学で開講	
1) 文献の収集とその精査により結論を導くことができる。 2) ビブリオバトル(知的書評合戦)のパトラーができる。 3) 異なる意見を尊重した共同作業によるプレゼンテーションを作成できる								
カタリバでキャリアを拓く	後期 金2	宮町	2	10名程度	1・2・3・4	講義、研修と高等学校を訪問する 「カタリ場」を実施(15コマ)	大分大学で開講(講義、研修)、 高等学校を訪問する「カタリ場」を実施	「カタリ場」は 土曜日(2回)に実施
受講生は「深いアクティブ・ラーニング」を通して、授業終了時に以下の能力を獲得します。 1. 自らの高校時代の体験を振り返り、それを高校生との対話に活かすコミュニケーションができる。 2. カタリバのスタッフと協力して、高校訪問の企画・準備・運営やプレゼンテーションができる。 3. 自分の進路体験を内省し、将来のキャリアを主体的に開拓できる基礎力を身につけている。								